



# 洋書輸入協会会報

Vol. 26 No. 5 (通巻300号) 1992年5月

## 300号に寄せて

一條 元美

会報が300号を迎えたということは、言うまでもなく1967年5月の創刊以来ちょうど25年、4半世紀が経過したことである。昨年の9月11日に洋書輸入協会が創立50年を祝ったのであるから、その歴史の半分に少し足りない。この長期間なんとか「洋書輸入協会会報」が1回の休刊もなく発行されたことは、第一に会員の皆さんのご協力とご支持、ならびに理事会のご理解とご指導によるものである。さらにこの間毎月1回の委員会にご出席のうえ、編集の実務を担当してくださった委員会の皆さんに厚く謝意と敬意を表したい。

25年前1967年4月という時期に協会の組織は大きな転換を迎えたのであった。初めて独立の事務所をおき、専任の事務長をおき、理事会を支える実行機関として各種の委員会をおくこととなり、その委員会の一つとして会報編集委員会が組織されたのであった。71年の6月では創刊50号を祝い、75年8月では100号を祝い、継続記事についての総索引をつけて1号から100号までの合本を作った。150号および200号(83年12月)のときには特別の祝賀号を出しはしなかったが、101号から200号までの合本をこの間の継続記事の総索引を付して作った。250号(88年2月)のときにはそれまでの二十余年を振り返る

記事を掲載して、記念号にかえた。大体において節目、節目のときには何かをしてきたことになる。

「創刊100号記念特集」には「100号記念に編集委員より一言ずつ」というページがあり、11名の委員が短い感想を述べている。これをいま読んでみて、これらにちょっと手を加えるだけで、現在にも通用するように思われる。これはそれこそ光陰矢の如しで時間があまりにも早く経過するからであろうが、何よりも会報を取り巻く環境がほとんど変化していないことを示しているようにも考えられる。創刊以来編集にたずさわる当事者の間では、会報が業界の向上と共存共栄を目指す討論の場となることを願ってきたが、この点については何の進歩もみられなかった。実際上の問題として業界の特殊な構成によって難しい点が多いことは否定できない。しかし依頼原稿でさえなかなか応じていただけないような現状を見ても、この大きな理想ははるか遠いところにあるように見える。また創刊当初から目標としてきた洋書ないしJBIAの歴史的なことがらについては、幾分かの成果があったと言えよう。かつて連載された業界の大先輩たちによる「洋書こぼれ話」や現在相良廣明顧問によって連載中の「洋書輸入協会史」などはその例である。

|                                           |                                   |                       |
|-------------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------|
| 300号によせて……………1                            | 海外ニュース……………5                      | 総代理店ご案内……………6         |
| 理事会報告……………2                               | おしらせ……………5                        | 東京の坂と橋と文明開化(24)……………7 |
| おしらせ……………2                                | 著者自己紹介……………6                      | 広告……………8              |
| 1991(平成3)年1~12月、<br>洋書輸入通関統計とその分析(後編) ……3 | 文化厚生委員会だより<br>第63回72会ゴルフコンペ……………6 |                       |

何れにしろ会報は協会の機関紙であり、その性格と活動を反映することしかできない。どんなに努力しても等身大のものしかできないのである。たしかに多くのご批判がある通り、紙面が言わばマンネリ化していることも否定できない。協会の活動、運動が活発になれば、当然そのことが紙面に現れ、生き生きとしてくるに違いない。業界を取り巻く情勢がいよいよ厳しいこんにちを考えながら、長い間の会報に目を通しての感想である。

「創刊50号記念特集」号には「会報委員会メンバー」と題して当時の9名と寺久保事務長の写真が掲載されている。さすがに20年以上前のことであるからみな若い。そ

のうち4名の方は今でも委員会に出席されている。25年の間毎月1回の委員会を休みなく開催して来たのであるから、メンバーの間に親しきが増してくるのも当然である。長い間には亡くなった方もあり、所属の会社が協会を去ったり、会社によっては出席者が変わったり、定年になって交替があったり、会社を移った方があったり、新たに加わってくださった方があったりして、幾らかの変動はあったが、どの方ともいい思い出をもち、今でも快い付き合いをさせていただいていることは、この委員会に所属した大きな喜びであり、楽しみである。

(1992. 4.) (極東書店)

## 理事会報告

### 3月10日(火)

#### (一) 2月分収支計算・予算対比表

3月6日(金)総務委員会での検討にもとづく神田俊二氏(丸善)の報告を承認した。

#### (二) 定時総会

5月14日(木)定時総会の開催通知文案を承認した。

#### (三) 選挙管理委員会

規約上選挙管理委員会を設置することとし、その人選をおこない、次のとおり委嘱することとなった。

医学書院(委員長) 福本書院 海外出版貿易 教文館 ナウカ 大洋交易 東亜ブック トップラン UPS  
(四) アメリカ専門図書館(Special Library Association)

会議(6月6日～10日)への参加ツアーを催すこととし、参加者を募ることにした。

#### (五) その他

### 3月27日(金)

#### (一) 1992年度予算の件

総務委員会予算案を審議し、一部修正して決定した。

#### (二) 役員選挙

協会規約および規定との関連について検討した。

#### (三) 事務局規定

現行の勤務規定の改正案について審議し、なお検討を加えることにした。

#### (四) '92東京国際ブックフェア

実行委員会によるJBIA会員出展者に対する説明会が4月7日に日本出版会館にて開催されとの報告があった。

#### (五) 50周年記念事業

特別委員会委員長 佐々木大刀夫氏(第一出版貿易)より記念行事の収支報告がなされた。

## おしらせ

E. メクレンブルグ商会(旧住所、日比谷・三信ビル)は、4月1日下記に移転した。

(164) 東京都中野区中野四丁目6-10、2A

電話: (03) 5343-1638

FAX: (03) 5343-1437

ベーカー・アンド・テラー・インターナショナルリミテッド日本支店は下記に移転した。

(164) 東京都中野区本町4-30-14

玉屋ビル 5F

電話: (03) 5340-3561

FAX: (03) 5340-3563

# 1991（平成3）年1～12月、洋書輸入通関統計とその分析（後編）

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

## 5. 主要国以外からの洋書輸入状況

（表9）主要6ヵ国以外で1991年1～12月に、書籍又は新聞・雑誌のいずれかで1,000万円以上輸入されている国の一覧表

（単位 百万円）

| 国 名     | 書 籍   | 新聞・雑誌 | 計     | 総合順位 |
|---------|-------|-------|-------|------|
| 韓 国     | 396   | 29    | 425   | 10   |
| N.KOREA | 33    | 4     | 37    | 21   |
| 中 国     | 305   | 118   | 423   | 11   |
| 台 湾     | 205   | 7     | 212   | 13   |
| 香 港     | 1,416 | 279   | 1,695 | 6    |
| タ イ     | 8     | 14    | 22    | 25   |
| シンガポール  | 685   | 192   | 877   | 9    |
| マレーシア   | 16    | 3     | 19    | 26   |
| 印 度     | 23    | 1     | 24    | 22   |
| スウェーデン  | 41    | 12    | 53    | 18   |
| デンマーク   | 39    | 4     | 43    | 20   |
| ベルギー    | 44    | 4     | 48    | 19   |
| ス ペ イ ン | 178   | 7     | 185   | 14   |
| イ タ リ ー | 333   | 664   | 997   | 7    |
| 旧 ソ 連   | 268   | 3     | 271   | 12   |
| オーストリア  | 58    | 85    | 143   | 15   |
| グリーンランド | 23    |       | 23    | 23   |
| カ ナ ダ   | 50    | 11    | 61    | 17   |
| ブラジル    | 11    | 12    | 23    | 23   |
| オーストラリア | 41    | 42    | 83    | 16   |

（注） 書籍には単一シート、辞・事典を含み、雑誌には週4回以上を含む。

### 〔分析〕

総合順位では、1位・米国、2位・英国、3位・ドイツ、4位・オランダ、5位・フランス、6位・香港、7位・イタリア、8位・スイス、9位・シンガポール、10位・韓国と、東アジア諸国の進出が目覚しく、反面でスイスが6位から8位におちるなどの異変があった。また輸入総額で17.3%もダウンしたため、この表に記載した国数も23ヵ国から20ヵ国に減少した。

トピックは、グリーンランド（GREENLD）の書籍が、年間2,265万円も輸入されていることである。どういふものが輸入されたのであろうか。

## 6. 洋書関連商品の輸入通関統計表

（表10）1991年1～12月、洋書関連の商品別輸入一覧

（単位 百万円）

| 品 名                           |              | 価 額    | 前年比 |
|-------------------------------|--------------|--------|-----|
| 幼児用の絵本及び習画本                   |              | 1,300  | %   |
| 楽 譜                           |              | 922    | 103 |
| 地図・海図<br>その他これ<br>らに類する<br>もの | 地球儀・天球儀      | 222    | 125 |
|                               | 製本したもの       | 39     | 38  |
|                               | その他のもの       | 367    | 100 |
|                               | 小 計          | 628    | 97  |
| 葉 書                           |              | 900    | 107 |
| カレンダー                         | 紙製又は板紙製      | 1,221  | 102 |
|                               | その他のもの       | 92     | 97  |
|                               | 小 計          | 1,313  | 102 |
| その他の印刷物                       | 広告・商業用カタログなど | 3,593  | 101 |
|                               | 写 真          | 1,437  | 50  |
|                               | 絵画・デザインなど    | 6,083  | 94  |
|                               | その他のもの       | 18,696 | 111 |
|                               | 小 計          | 29,809 | 100 |

### 〔分析〕

写真が50%ダウンしているが、前年に2倍に増えているため、元に戻ったもの。

（注1） 楽譜は、印刷したもの及び手書きのものに限るものとし、製本してあるかないか、又は挿絵を有するか有しないかを問わない。

（注2） 地図、海図その他これに類する図は、製本したもの、壁掛け用のもの、地形図及び地球儀、天球儀その他これらに類するものを含むものとし、印刷したものに限る。

(注3) 葉書は、印刷したもの及び挿絵を有するものに限る。また個人のあいさつ、伝言または通知を印刷したカードを含む。なお、この品目は'87までは、「絵葉書、クリスマスカード、その他これらに類する絵入りのカード」となっていた。

(注4) カレンダーは、カレンダーブロックを含むものとし、印刷したものに限る。

(表11) 洋書関連商品の輸入の1981年比1991年の成長度  
(単位 百万円)

| 品 名       | 1981  | 1991   | '81:'91 |
|-----------|-------|--------|---------|
| 絵本        | 206   | 1,300  | 631     |
| 楽譜        | 649   | 922    | 142     |
| 地球儀など     | 402   | 222    | 55      |
| 地図・海図     | 709   | 406    | 57      |
| 絵葉書など     | 204   | 900    | 441     |
| カレンダー     | 533   | 1,313  | 246     |
| 写真        | 465   | 1,437  | 317     |
| 印刷絵画・デザイン | 465   | 6,083  | 1,308   |
| その他の印刷物   | 4,489 | 18,696 | 417     |

#### 7. 1991年1～12月、マイクロフィルムと文献情報検索用磁気テープの輸入通関統計表

(表12) マイクロフィルム

(単位 百万円)

| 品 名      | 価 額 | 前年比 |
|----------|-----|-----|
| マイクロフィルム | 767 | 98  |

(表13) 文献情報検索用磁気テープ

(単位 百万円)

| 品 名                                  | 価 額   | 前年比 |
|--------------------------------------|-------|-----|
| 「磁気テープ」のうち「幅が6.5ミリを超えるもの」の中で「その他のもの」 | 4,912 | 87  |

〔分析〕

米国のシェアが87%であるのは前年通りであるが、2位はフランスで157百万円、3位は中国で142百万円、4位は英国で132百万円であった。前年は2位オーストリア、3位ドイツ、4位中国の順であり、中国の健闘が続いている。

なお、この輸入価額49億円は、すべてが文献情報検索用磁気テープという訳ではなく、この価額の中に文献情報検索用磁気テープが含まれているということである。

#### 8. 1991(平成3)年1～12月、書籍、新聞・雑誌の輸出通関統計表

(表14) 書籍、新聞・雑誌の輸出合計額

(単位 百万円)

| 分 類   | 品 名           | 価 額    | 前年比 | 構成比 |
|-------|---------------|--------|-----|-----|
| 書 籍   | 単一シートのもの      | 440    | 92  | %   |
|       | 辞典及び事典        | 286    | 98  |     |
|       | その他のもの        | 28,570 | 92  |     |
|       | 小 計           | 29,296 | 92  |     |
| 新聞・雑誌 | 一週に4回以上発行するもの | 164    | 820 | %   |
|       | 新聞            | 5      | 56  |     |
|       | 雑誌その他の定期刊行物   | 4,916  | 96  |     |
|       | 小 計           | 5,085  | 99  |     |
| 計     |               | 34,381 | 93  | 100 |

〔分析〕

輸出も、輸入の17.3%(実質9.7%)のダウン程ではなくても、同様にダウンし、前年比7%の減となっている。これは7.6%の円高(前号所載、表8参照)を勘案すると、努力した数字であろう。円高の場合は外国での販売価が高くなるからである。

(表15) 1986～'91年、書籍・新聞・雑誌の輸出通関統計  
推移表

(単位 百万円)

| 暦年   | 書 籍    |     |    |  | 新聞・雑誌 |     |    |  | 計      |     |    |  |
|------|--------|-----|----|--|-------|-----|----|--|--------|-----|----|--|
|      | 価 額    | 前比  | 指数 |  | 価 額   | 前比  | 指数 |  | 価 額    | 前比  | 指数 |  |
| 1986 | 30,782 | 92  | 92 |  | 4,704 | 78  | 78 |  | 35,486 | 90  | 90 |  |
| '87  | 28,834 | 94  | 86 |  | 4,570 | 97  | 76 |  | 33,404 | 94  | 85 |  |
| '88  | 28,454 | 99  | 85 |  | 4,228 | 93  | 70 |  | 32,682 | 98  | 83 |  |
| '89  | 29,714 | 104 | 89 |  | 4,478 | 106 | 75 |  | 34,192 | 105 | 87 |  |
| '90  | 31,730 | 107 | 95 |  | 5,141 | 115 | 86 |  | 36,871 | 108 | 94 |  |
| '91  | 29,296 | 92  | 88 |  | 5,085 | 99  | 85 |  | 34,381 | 93  | 88 |  |

(注) 指数は1985年を100としたもの。

(表16) 書籍・新聞・雑誌計の輸入と輸出の比率推移表

| 分類 | 1979 | '84 | '85 | '86 | '87 | '88 | '89 | '90 | '91 |
|----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|    | %    | %   | %   | %   | %   | %   | %   | %   | %   |
| 輸入 | 70   | 50  | 46  | 44  | 50  | 53  | 55  | 58  | 54  |
| 輸出 | 30   | 50  | 54  | 56  | 50  | 47  | 45  | 42  | 46  |

[分析]

1988年に再逆転して輸入額が多くなった状態は、'91の輸入の大幅減によって接近したとはいえ、未だ継続している。

(以上)

## 海外ニュース

### 著作権侵害による米国出版社の 損失は10カ国で2.76億ドル

国際知的所有権同盟(IIPA)の最近の見積りによると、1991年の海賊版による米国出版社の損失は2.76億ドルとなっている。この金額は著作権の施行上の問題を抱えているとしてIIPAがリスト化した23カ国の中の10カ国からの損失のみで、23カ国からの損失合計は39億ドルに達する。

著作権のより完全な実施を迫るためIIPAは台湾、ポーランド、フィリピンの各国を米国通商法スーパー301条の“優先国”に加えることを勧告した。これら3カ国は本年4月30日までに著作権保護・施行上の変更を実施するか、または制裁を受け入れるかいずれかに同意しなければならない。

インドとタイは引き続き“優先国”の指定を受けているがIIPAは特にタイにおける著作権侵害にいらだっている。IIPAのエリック・スミス理事は、今後数ヶ月の間にタイにおいて著作権侵害の裁判で有罪が得られない場合、同国に対し早急な通商制裁をとる様、米国通商代表部カーラ・ヒルズ女史に勧告している。スミス理事は同国ですでに逮捕されている海賊版業者が有罪判決を受けるかどうかはきわめて疑問であるといっている。IIPAは米国著作権関連産業のタイにおける損失は、米国出版社による損失2000万ドルを含み、合計8500万ドルと見積っている。

IIPAの“監視リスト”国となっている中国における1991年の海賊版による米国出版社の損失額は第1位で1億ドル、第2位のフィリピン7000万ドル、第3位のインドは2500万ドルとなっている。

—BP レポート 3月2日号から抜粋—

### Estimated Trade Losses Due To Piracy Of U.S. Book Publishers, 1991 (\$ in millions)

| Country      | Total |
|--------------|-------|
| China        | \$100 |
| Philippines  | 70    |
| India        | 25    |
| Thailand     | 20    |
| Taiwan       | 15    |
| Korea        | 15    |
| Egypt        | 10    |
| Turkey       | 10    |
| Saudi Arabia | 6     |
| Brazil       | 5     |
| Total        | 276   |

Source: IIPA

## おしらせ

1989年にGale Research社に吸収合併されたSt. James Pressのディストリビューションは、アメリカGale社よりなされることとなった。また1992年3月1日より、日本での窓口がトムソン・パブリッシング・ジャパンになった。

なお、日本での取扱店店は、UPS、丸善、紀伊國屋書店となっている。

## 著者自己紹介

洋書輸入協会顧問

相 良 廣 明



洋書とのかかわり合いが37年間、洋書輸入協会理事会への出席が29年間、これだけの経験を積み重ねて、紀伊國屋書店を昭和60年8月に退職した。このとき、誰かが協会の歴史をまとめて書き残しておくべきだろうと思い、書き始めたのが協会史である。大学での文化史の講義体験も加味している。一方で洋書経営のよすがにでもと思って、昭和49年から年に一回の連載を始めたのが、洋書輸入通関統計である。どちらも御愛読、御利用頂ければ幸いである。

丸善・本の図書館

鈴 木 陽 二



昭和28年に丸善に入社しほぼ全経歴を洋書の選書・商品開発の部門で送った私には、重要な洋書の開発・発掘を通して、戦後学術の復興と発展に関わることが出来たと自負している。昭和62年からは「本の図書館」を専任して別の角度から出版文化の振興に努めている。

『会報』の連載は、直接洋書を語ってはいないにしても、驚くほどの執念で洋書を摂取し自家蔵中のものにしていった明治という時代の熱気、また近代化の成果や悲喜劇を、東京という身近な舞台で見ようとしたもので、洋書が育てたともいえる近代文化の背景を垣間見て頂ければ幸いである。

## 文化厚生委員会だより

### 第63回72会ゴルフコンペ

カントリークラブ・ザ・レイクス

1992年3月12日(木)



92年最初のコンペは日本レンタカラーの鈴木さんのホームコース、ザ・レイクスでおこなわれました。青木、樋口両プロが設計した素晴らしいコースでした。ほとんどのホールに池が配置された戦略性の強いホールばかり。当初5組の予定が参加希望者多数の為、急遽7組に増やして行われました。それでも参加出来なかった方、申し訳ありません。初参加のトッパンの関野さん、何年も御無沙汰だったユサコの山川さんなど、新メンバー、復活組入り交じっての戦いとなりました。前半トップに立ったのはコースオーナーの鈴木さん、さすがに攻め方を知っている。しかしプレッシャーがかかったのか後半大崩れ、前回の4位に続き、6位と惜しくもチャンスを逃しました。みんなが池に苦労している中で前半僅差で追っていた三宅さん(丸善)が初優勝。終始安定したブレイで池に全く縁がなかったとか。昨年より参加され、2回連続3位という実力者、これからも上位に顔をだすことでしょう。2位にはやはり丸善の竹村さん、長期休養後、昨年から会に復活、2位、4位と活躍、今回も惜しかった。61回尾子さん(紀伊國屋)、62回吉本さん(紀伊國屋)、今回三宅さんと最近、丸善、紀伊國屋勢が強力な72会です。

|        |       |                     |
|--------|-------|---------------------|
| 優 勝    | 三宅昭三  | (丸善) 44 44 NET 75   |
| 準優勝    | 竹村政彦  | (丸善) 48 49 NET 82   |
| 3 位    | 日和田早苗 | (紀伊國屋) 44 47 NET 82 |
| ベストグロス | 三宅昭三  |                     |
| ドラコン   | 日和田早苗 | 和田実                 |
| ニアピン   | 三宅昭三  | 三宅昭三                |

## 総代理店ご案内

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

Tel.(03)-3291-4541 Fax(03)-3293-3484

新加入出版社

UCL Press Ltd. U. K.

Omnigraphics. Inc. U.S.A.

代表停止出版社

Blackie & Sons Ltd. U. K.

Meckler Ltd. U. K.

Oryx Press, The U.S.A.

## 築地と洋学〔2〕 近世日本の西洋医学(1)

丸善・本の図書館 鈴木 陽 二

3年半、辛苦の歳月を重ねて完成した『解体新書』は、オランダ医書の本格的な和訳として我が国における西洋医学の発展に大きな貢献を果たした。この訳書の原本は通称『ターヘル・アナトミア』、正式書名は『解剖学の表、図譜及び解説付、人体の構造とその各部の機能の図解と説明』（沼田次郎『洋学』）という1734年にオランダで刊行された解剖学書であったが、そもそものオリジナルはドイツのアカデミー会員にもなったヨハン・アダム・クルムスの『解剖図譜』（1732年刊）で、教科書風の初歩的解剖学書として当時ヨーロッパ各国で翻訳され、広く流布したものである。オランダ医学の黎明期にあったその頃の日本の蘭方医にとっては理解しやすく、適当な内容の医学書であったといえる。

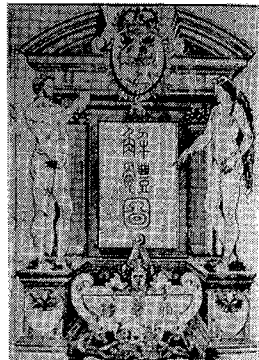
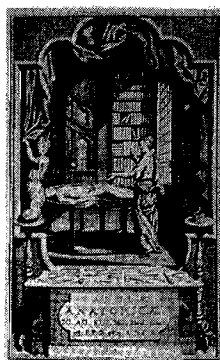
我が国の西洋医学は、NHKのドラマ『信長』にも登場しているが、1552年（天文21）に平戸に渡来したポルトガル人アルメイダ（Luis d' Almeida）が、イエズス会宣教師となって大友宗麟の庇護を受け、伝導の傍ら病院を設立して治療に当たったのが初めである。彼ら宣教師達は医療活動を布教に利用して信者の獲得を進めたのであり、それにより医療施設は各所に広がって行った。しかしその後聖職者の医療行為を禁ずるイエズス会の規則が制定されたり、島津軍の豊後侵攻による医療施設の破壊、そして決定的には秀吉の切支丹禁制によって西洋医学が医療の中心として根付くまでに至らなかった。

こうした中で南蛮流医学は細々ながらもその命脈を保つことができた。「ころび伴天連、沢野中庵」と自らを記したポルトガルの宣教師クリストヴァン・フェレイラは棄教後幕府によりキリシタン吟味にも使われて目明し忠庵などとも呼ばれ、背教の傷を負いながらも日本人に医療を施し、その医術は西玄甫など彼の弟子達に継がれていった。72歳の生涯を長崎で終えたフェレイラは後に品川東海寺に移葬されたが、今では谷中にその墓を見ることができる。1641年（寛永18）オランダ商館が長崎の出島に移転し、鎖国が終了する1858年まで100人にのぼる商館付きの医師が派遣されて来たが、彼らから長崎通詞にオランダ医学が伝えられていった。榎林流外科の開祖となった通詞の榎林鎮山はパレーの外科書から図版を転載して『紅夷外科宗伝』を著す。1690年にはエンゲルベルト・ケンペルが来日して西洋医学の扶植に大きな貢献を行い、帰国してヨーロッパ人の日本研究に新時代を画し

た名著『日本誌』（最初英語訳で1727年、ドイツ語は1777～1779年）を上梓、日本では1801年に『鎖国論』として抄訳される。1680年頃には通詞の本木良意がドイツ人レムメリンの解剖書のオランダ語版を訳し（75年後『和蘭全軀内外分合図』として刊行）、これが日本で初めてのオランダ医書の翻訳となる。『解体新書』に先立つことほぼ1世紀のことであった。蘭方医ではないが漢方の系統を引く古医方の山脇東洋は1754年（宝暦4）に日本で最初の人体解剖を行い『蔵志』を著している。

このように徐々にではあるが西洋医学が浸透して1774年（安永3）遂に『解体新書』の偉業に結実するのであるが、これを契機にオランダ語の読解が飛躍的に進み、西洋の学術も急速な普及を見ることになった。前回触れたように『解体新書』はその翻訳を急いだ杉田玄白によって拙速の出来となったにもかかわらず、そのまま上梓した。そして彼はその完全な改訳を弟子の大槻玄沢に託して、1826年（文政9）に『重訂解体新書』として世に出ることになるのであるが、この書はクルムスの原著の単なる訳に止まらず、玄沢のそれまでに蓄積された蘭学の知識が広く盛り込まれた労作であったという。

玄白は晩年に至って南蛮・蘭学草創期の歴史と、『解体新書』訳出の経過を回顧録とし（1815年＝文化12）、その手稿の校訂を大槻玄沢にゆだねる。これが写本で伝わり、明治2年福沢諭吉によって『蘭学事始』として刊行される。高い文化史的価値をもつ文献である。



『ターヘル・アナトミア』と『解体新書』の扉

## 高等教育百科事典／全4巻

# The Encyclopedia of Higher Education

Editors in Chief: Burton R. Clark and Guy Neave

〈7月刊行予定〉 '92. 4 Vols. ca 2,600 p. IISBN 0-08-037251-1/MBN 90110631

出版前特価 ¥225,000／通常価 ¥270,000

国際的に権威のある専門家の手による300の論文が世界130ヵ国の高等教育の現状と傾向を、詳細かつ批判的に最新のデータにより統合します。

第1巻は世界130ヵ国の高等教育システムの説明・分析を、国名のアルファベット順に行ないます。

第2・3巻は、「高等教育と社会」、「高等教育システムの構造」、「高等教育の管理・運営・財政」、「教授と学生、授業・学習・研究」、「学問上の問題」の5つのテーマの下に、基本理論、方法論など20～40論文で構成します。

第4巻は第2次大戦後の各分野の成果と問題点をとり上げます。

### Partial Contents

**Vol. I: National Systems of Higher Education Subject. Editors:** J J Brunner, Flasco, Chile, and J L G Garrido, Spain

**Vol. II & III: (i) - Higher Education and Society:** Contribution of Business to Higher Education / Higher Education and Government / Higher Education and Local Communities / Higher Education in Non-Western Societies / The Implementation of Higher Education Reform. **(ii) - Institutional Fabric of the Higher Education Systems:** Distance Education at Post-Secondary Level / Private Institutes of Higher Education / Short Cycle Higher Education: Europe / Technical Institutes: Soviet Union and Eastern Europe / Multi-Campus Universities. **(iii) - Governance, Administration and Finance:** Academic Freedom / Coordination: Continental Europe / Leadership: University Vice-Chancellors / Salaries and Salary Determination / Strategic Planning / Finance / Management / Performance. **(iv) - Faculty and Students: Teaching, Learning and Research:** Faculty Cultures / Strategies: Student Learning and Study / Enduring Effects of Higher Education / Non-Traditional Students: Ethnic Minorities / Faculty Recruitment, Tenure and Promotion / Degrees: Duration, Structures, Credit and Transfer / Students and the Labour Market. **(v) - Disciplinary Perspectives:** History / Law / Macrosociology / Policy Analysis / Political Economy / Science Studies / Women's Studies / Literature.

**Vol. IV: The Academic Disciplines - Biological Sciences:** Genetics / Microbiology. **Humanities and The Arts:** Philosophy / Systematic Theology. **Medical Sciences:** Pathology / **Physical Sciences:** Academic Earth and Planetary Science / Academic Physics. **Social Sciences:** Geography / Political Science.

(Pergamon Pr., GBR/日本総代理店: 丸善)

※価格はいずれも税別。



〔本社・日本橋店〕〒103 東京都中央区日本橋2-3-10 ☎(03)3272-7211 振替東京7-5番

支店・営業所—東京(お茶の水・丸の内・内幸町・浜松町・アークヒルズ・渋谷・錦糸町・北千住・柏・取手・土浦・船橋)・千葉・八王子・大宮・所沢・新潟/札幌・仙台・盛岡・郡山・筑波・水戸・横浜・静岡・浜松・名古屋・岐阜・三重・金沢・富山・福井・京都・滋賀・大阪・神戸・姫路・岡山・松山・広島・山口・福岡・長崎・鹿児島・沖縄/ニューヨーク・シカゴ・ロンドン

1992年5月 通巻第300号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室

☎3271-6901 FAX.3271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル

☎371-5329